

導入時シリーズ

スタサプ導入塾が語る！

大変だったことと
乗り越える
ための工夫 編



スタディサプリ for 学習塾 導入時のポイント

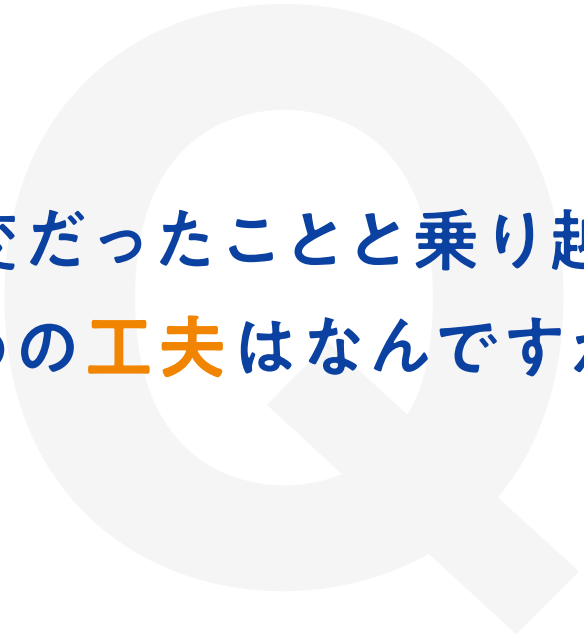
こちらでは、スタディサプリ for 学習塾を導入している学習塾様の生の声をもとに、

「スタディサプリを導入するにあたり、導入時に意識していたことは何か」をご紹介します。

ICT教材の導入を検討しているが、どのようにすればいいか…とお悩みの方にお勧めです。

基本的な機能や使い方は、別途ご用意している
「3分でわかるスタディサプリ for 学習塾 基礎活用編」
をご覧ください。





大変だったことと乗り越える
ための工夫はなんですか？

※掲載している情報は、すべて取材した時点でのものになります。

CASE 1 塾主導で使用を指導した



R&G Labo 様

指導形態:個別・自立型
生徒総数:13名

『スタディサプリ』の導入前から活用方法をイメージしていたため、特に苦労したことはありません。ただ、『スタディサプリ』を与えたからといって、すべての生徒が自分から勉強するわけではないと思います。**塾側が主導権を握り、生徒に「活用しなければならない」と思わせるような環境を作ることが大切です。**



個別指導塾 のび〜る棚倉校 様

指導形態:個別
生徒総数:約80名

いかに**『スタディサプリ』の画面を開かせるかということに注力しました。**そこで実施したのが、月曜日の宿題配信をルール化したこと。「宿題をやりましょう」と言うだけでは、習慣化させることは難しいものです。学習習慣を身に付けるきっかけとして、『スタディサプリ』を開かなければならないという状況を作りました。



やはりどの塾も動画を見てもらうためにいろいろと苦心しているようです。生徒に見てもらうために、まずは塾側が主導権を持って生徒にスタディサプリを見てもらうための仕組みを作っていくことがポイントです。

CASE 2 スタサプの使い方を提案した



けいはんなロボット・プログラミング 様

指導形態:個別
生徒総数:非公開

生徒のアカウント設定は塾側でサポートしましたが、それ以外は特段苦労したこともなく、想定していた通りに活用できています。活用を進める上で意識したのは、**生徒の負担を考慮し、少ない時間で最大の効果を出す**ということ。部活動や趣味に没頭する中学生にとって、1日の中で勉強に費やせる時間は限られています。そのため、忙しい生徒には倍速視聴を勧めたり、通学時のスキマ時間での活用を提案しています。



一英塾 様

指導形態:個別
生徒総数:30名

一部の生徒はすでに学校で『スタディサプリ』を利用していました。中には、過去にたくさんの宿題を出されて苦労した経験や、自分の知りたい内容の講義動画が見つけれなかったりした経験から、ポジティブなイメージを持っていない生徒がいたのも事実です。**そんな生徒の不安を解消するために、『スタディサプリ』の便利な使い方を教えたり、一緒に講義動画を探したりと、丁寧な対応を心がけました。**使い方がわからない・使い切れていない生徒と『スタディサプリ』の間に講師が介在することに、塾ならではの価値があると考えています。



生徒が気軽に使えるように先生の方からスタディサプリの使い方を提案。宿題配信機能や一つの動画が5～15分でどこでも手軽に見られるメリットを活用して、生徒の勉強の習慣化やモチベーション管理を行っていくことがポイントです。

CASE 3

スタサプの画面を見ながら一緒に話をした



コンパスラボ 様

指導形態: 自立型
生徒総数: 28名

特段大変だったことはありません。ただ、『スタディサプリ』を使うのは生徒である以上、「**見よう**」と思わせることが活用につながると考えていました。そこで、入塾時に学校のテストから生徒の理解度を把握し、取り組むべき教科や単元などの学習計画と一緒に立てて、納得してもらった上で進めています。また、「確認テスト」の正答率を見ながら、生徒に講義の内容を質問し、正確に説明させるという流れを作ること、集中して講義動画を見なければならないという動機付けを与えました。



学習ステーション MEIKYO 様

指導形態: 個別・集団・自立型
生徒総数: 51名

導入時に苦労したことはありませんが、活用を進めていくにあたって意識したのは、**生徒一人ひとりに合わせたモチベーションを高める工夫を随所に取り入れること**。「スタディサプリfor TEACHERS」の管理画面を一緒に見ながら、「宿題に取り組めていないのはあなただけだよ」と喝を入れたり、タイムラインに上がってきた**生徒の情報に触れて、「●●さんマスターしたらしいよ」と声をかけたり**。こうした工夫により、生徒のモチベーションアップを図っています。



ユニバー ハイスクール 様

指導形態: 自立型
生徒総数: 20名

生徒の中には、すでに学校で『スタディサプリ』を利用しているというケースも多く、**塾用のアカウントを使う意味について考えさせられました**。塾用のアカウントを使う意味は、**生徒一人ひとりにより寄り添い、弱点にフォーカスした個別指導ができる**ということ。学校で『スタディサプリ』を導入されている場合でも、ここまでの個別フォローは現実的に難しいかと思いますが、そこができるのが塾の強みです。どの単元で何問間違えたのかといった細かい粒度のログをもとに生徒への指導やカリキュラムを都度チューニングしていきます。実際の管理システム画面を生徒に見せながら、塾用のアカウントを使うメリットを伝えました。

POINT

確認テストや単元テストを自動的に配信・採点まで行い、その結果も管理画面で見られるので、管理工数を削減することができるようになります。そこで捻出された時間を生徒との対話の時間に使うことで、学習効果をより高めることが可能です。

CASE3の参考

配信～管理画面でのチェックイメージ

視聴してほしい講座や解いてほしいテストを選び、『スタディサプリ for TEACHERS』に登録した生徒を選択してボタンを押すだけで宿題の配信が簡単にできます。生徒も配信されたテストをスマートフォンやPC上で気軽に受けられ、採点も自動的行われます。

講義動画の視聴履歴や採点結果は管理画面で一括管理され、進捗状況の確認も簡単に行うことができます。

PC・スマートフォン



宿題配信

ICT教材の強みを活かし、
オンラインで宿題を配信し、
生徒の学習理解度を測ります



1

問題を見て
回答を入力



2

正解を確認して
次の問題へ



3

全体の正答率
を確認

for TEACHERS 管理画面



採点結果は管理画面に表示され、
生徒の理解度を一目で確認できます。

CASE 4

都度取り組み内容をチューニングした



学館-ivy 様

指導形態:個別・集団

生徒総数:約50名

使用すれば何かしらの効果が出るとは思っていたので、活用方法については具体的にイメージしていませんでした。というのも、『スタディサプリ』を使うのはあくまで生徒。生徒と一緒にどのように使っていくかを話し合い、試行錯誤しながら活用方法を見つけることが大切だと考えていたからです。活用を進めるにあたって意識したのは、**生徒まかせで進めないこと。学力や意欲によっては取り組みが悪くなる恐れもあるので、その時々で効果が出る方法を生徒に提案しています。**



POINT

生徒の学習状況に合わせて取り組み内容をチューニングしていくことも、学習意欲を高めていくために重要なポイントです。全学年・全教科の動画を自由に見ることができるスタディサプリを使えば、学習プランの変更も柔軟に対応することが可能です。

CASE 5 スタサプ以外でのマニュアルを作成した



ベスト個別motto 様

指導形態：自立型
生徒総数：200名

正社員が学習プランニングを行い、学生アルバイトが日々の進捗管理、質問対応を行うというように、それぞれの役割分担を明確にしています。導入当初は、学生アルバイトにパソコンを支給できなかったため、生徒一人ひとりの学習進捗をいかに可視化するかが課題でした。そこで用意したのが、月ごとの進捗度合いの目安を記載した「**学習進行基準表**」。**正社員だけでなく、学生アルバイトもひと目で生徒の進捗がわかるようになりました。ICT教材だけに頼るのではなく、自塾の事情に合わせて工夫をするとスムーズに運用できると思います。**



東大ゼミ 様

指導形態：個別・集団
生徒総数：171名

当塾は教室を複数展開しているため、教室間の足並みを揃えることに苦労しました。そこで、**教室間のコンセンサスを得るために、マニュアルを作成**。活用していく段階で課題も出てきますが、生徒の活用状況を見て気になる点があれば、月1回の教室長MTGで共有して活用方法を検討するなど、生徒の実態に合わせたマニュアルにしています。

お役立ち資料もご用意

例) 高3 難関国公立理系シラバス

教科	講座名	講義数	6月		7月
			6月	7月	
英語	高3 ハイレベル英語 <文法編>	24講義	8講義	8講義	8講義
	高3 ハイレベル英語 リーディング <英文解釈編>	8講義	2講義	3講義	3講義
	【英語音声付き】高3 ハイレベル英語 <読解編>	24講義			
数学	高3 ハイレベル数学 I&II B	48講義	6講義	10講義	
	高3 ハイレベル数学 III	24講義	4講義	4講義	
理科	高3 トップ&ハイレベル化学 <理論編> (48講) +高3 トップ&ハイレベル化学 <有機編> (27講) +高3 化学 <無機編> (12講)	87講義	11講義	15講義	
	高3 トップ&ハイレベル物理 (48講) +高3 トップ&ハイレベル物理 <原子編> (10講)	58講義	9講義	9講義	
共通テスト対策	【英語音声付き】共通テスト対策講座 英語 <リーディング編> (7講) 【英語音声付き】共通テスト対策講座 英語 <リスニング編> (5講)	12講義			
	共通テスト対策講座 古文論文	6講義			
	共通テスト対策講座 政治経済	5講義			
志望校対策	北海道大学 英語対策講座	10講義			
	北海道大学 数学 (AIIIB)対策講座	10講義			
	難関国公立大対策講座 数学 III	10講義			
月ごとの合計受講数			40講義	49講義	
1週あたりの受講時間(目安)			10講義	12講義	

POINT

ICTツールとアナログツールを組み合わせるなど、自塾ならではの運用方法を考えてみるのも上手くいく秘訣の一つかもしれません。スタディサプリでは学習計画の設計に使える汎用シラバスやスタディサプリの活用事例をパターン化してまとめた資料など、様々なお役立ち資料も用意しています。

CASE 6 新しい教え方のスタイルを開発した



郡山俊英スクール 様

指導形態：個別・集団
生徒総数：130名

現在の指導スタイルになる前は、「授業は学校教材」「宿題は『スタディサプリ』」というように完全に分けて指導していました。授業で学んだことを宿題の講義動画で補強することを考えていたのですが、勉強が苦手な生徒にとっては最初のインプットが不十分な状態で初めて講義動画を目にするので、理解が追いついていないケースもありました。もっと『スタディサプリ』の効果を最大化させることができないか？というのはずっと苦慮していたところだったのです。そこから、**私達講師が『スタディサプリ』の講義動画を予習した上でその指導ポイントを踏襲した授業を行い、宿題で同じ箇所の『スタディサプリ』を出すというスタイルに切り替えました。**これが大きなブレイクスルーだったように感じます。『スタディサプリ』を通して授業と宿題を連動させたことで、十分に理解した状態で講義動画を視聴できるため、2倍速で視聴するなど、工夫して取り組む生徒も見受けられます。



成蹊学習フレンズ 様

指導形態：個別・集団
生徒総数：27名

導入したばかりの頃は、「『スタディサプリ』を与えれば、生徒は自分から取り組んでくれる」と考えていました。確かに、はじめはその真新しさから取り組んでいましたが、次第に慣れてきて動画に集中できない生徒が目立つように。**活用が進まない原因は「教材」ではなく「使い方」にあると考え、**2、3ヶ月試行錯誤し、現在は講義動画を視聴させた後に、講義の内容を生徒に「言わせ」て、講師が「ほめる」をオペレーションに組み込むようなスタイルになりました。

POINT

豊富な動画や問題数があるスタディサプリは、生徒だけでなく教える側の先生にも役に立つツールとして活用できるようになります。ICT教材というツールとして活用できることももちろんですが、自塾ならではの指導スタイルを探すことで他塾との差別化につなげることも一つのポイントかもしれません。

保護者向け案内資料の サンプルも用意しています

『スタディサプリ for 学習塾』の導入・活用にあたり各種資料を用意しています。

保護者に向けた案内用の資料として編集も可能なお知らせレターやチラシのサンプル、また、実際に効果高くご利用いただけている学習塾様から聞いたさまざまな場面でのスタディサプリの活用方法をもとに集めた11パターンの使いかたの事例など、ご自由にお使いいただけるようにしています。

ウェブサイトはこちら ▼

<https://juku.teachers.studysapuri.jp/katsuyo>

1. 保護者向け案内資料 (保護者向けチラシサンプル・料金設定の過去事例等)

スタディサプリを学習塾に導入する際に、保護者へ案内する際の案内資料を用意しましたのでぜひお役立てください。

スタディサプリ学習塾向けサービスの導入を保護者へ告知する際の参考として「導入理由」、「料金の伝え方」、「注意事項」、などについての事例をまとめています。その他の資料のご利用方法はこちらにまとめているので、まず最初にご確認ください。



スタディサプリ導入に伴う保護者様へのご案内マニュアル



その他資料

スタディサプリ for 学習塾 の活用について

課題配信と学習状況の確認を組み合わせることで
生徒一人ひとりに合わせた指導が実現します

講義自体に
スタディサプリを活用

自習室での
予習・復習に
スタディサプリを活用

教えていない科目の
カバーに
スタディサプリを活用

定期テスト対策に
スタディサプリを活用

長期休暇時の
予習復習に
スタディサプリを活用

など
など...



学習塾だからこそできること × スタディサプリでできること

目標と一緒に考える

学習の計画を立てる

悩みや迷いに気付く

モチベーションを上げる

目標に向けて伴走する



最大 6 教科 19 科目の授業

テストによる苦手把握

学習履歴の管理

課題配信と自動採点

スタディサプリは2022年3月から、学習塾の皆様をサポートするサービスの提供を開始いたしました。生徒を間近で見られる講師や塾経営者の皆様に、低価格でICTを導入いただくことで、学習の質を向上することに貢献したいと考えています。目標や勉強をやる意味、日々のモチベーション、つまずきや悩みの把握、そうしたことがあってはじめて、生徒は学習を続けます。スタディサプリは、そんな生徒の間近にいる塾の皆様に使っていただくことではじめて、価値が生まれます。

スタディサプリ for 学習塾のウェブサイトでは実際に活用している塾の事例を紹介しています。



ウェブサイトはこちら ▶ <https://juku.teachers.studysapuri.jp/case>

スタディサプリ for 学習塾



※本資料に記載されている情報は、2023年6月21日時点の情報です。サービス内容等については変更になることがございますので、詳しくはスタディサプリ公式ホームページにてご確認ください。
※掲載している塾の情報は、すべて取材した時点のものになります。